

平成24年度収穫祭が行われました。

3回目の稲刈り・収穫祭が行われました。

深まりゆく秋、気持ち良く晴れ渡った空の中を、共助研の福岡組（木寺リーダーご夫妻、矢ヶ部さん、濱田さん、吉田さん、森脇）の6人はまだ眼がさめやらぬ午前7時に建コンビル前を出発。紅葉には少し早い緑の多い大分道を走り、午前9時半に旧長谷小学校体育館へ到着。しばらくすると波木事務局長、波多野さんが到着。共助研からは全員で8名の参加です。着替えを済ませ10時前に今日の目的地である松巖寺田んぼに集合。今年は天気心配なしに晴れ渡った秋空の下での稲刈りです。

今年は柴北川を愛する会（以下、愛する会）、共助研に加え、波多野さんの紹介の大分市西の台小学校の「おやじの会」のみなさんが参加されました。（昨年雨のため不参加）子供約25名、大人約30名の総勢50～60人の参加です。また、地元のケーブルテレビ局からも取材に来ていました。

＜今回のスケジュール＞

7:00 出発

10:00～11:30 稲刈り

12:00～13:30 収穫祭

（昼食、物産販売、竹トンボ教室）

13:30～14:00 意見交換会

1. 稲刈りの開催

■稲刈りの開会

10時過ぎに愛する会の穴見会長から開会の挨拶があり、子供たちを中心に安藤班長から上手な稲刈り方法の講習会がありました。今年で3回目となり参加者も多かったことから安藤班長の説明も熱が入っていました。

- ①稲を根元から鎌で切り5束程度にまとめる。
- ②昨年取れた藁を5本程度取り刈り取った稲の束に巻く。
- ③両手でわらを巻きつけ左右を合わせて輪の中にくぐらせる。



刈り取り前の金色に輝く松巖寺田んぼ



穴見会長挨拶



安藤班長の説明を熱心に聞き入る子供たち

④縛った稲は竹で作ったハザに掛ける。(7:3くらいに稲束を割り1束ずつ交互に掛けていく。稲は天日で干すのが一番おいしく、ハザ掛けするそうです。)

■稲刈りが始まりました

子供たちは安藤班長の説明を熱心に聞き、さあ実践です。今年は数日前から晴天に恵まれ田んぼの水もすっかり引いていたので運動靴でも十分でした。稲を刈る人、束ねる人、ハザにかけの人に分かれ作業を進めていきました。

初めて体験する子供もいてとても楽しそうに歓声を上げていました。最近増えてきたとは言え稲刈りの体験はなかなかできるものではありません、子供だけでなく大人も新鮮な思いを感じながら熱心に稲刈りをしていました。最初は要領を得なかった子供達も徐々に慣れ、しばらくすると小さな子供でも十分に戦力になっていました。

初めに入ったとき意外と広く感じられた田んぼもこの人数で稲刈りをするとあっという間でした。稲の面積が徐々に減ってきて、ハザが徐々に増えてきました。1時間経った頃飲み物を飲みながら休憩、あと少し頑張れとみんなで言い聞かせながら最後の一束を刈り取りしました。11時過ぎには終了しハザ掛けが刈り取られた田んぼにきれいに並びました



楽しそうに作業するみんな



徐々に増えていくハザ

終わった後子供たちはこの場を立ち去るのを惜しむように川遊びに興じていました。集合写真を撮った後、体育館で収穫祭です。



稲刈り終了の集合写真

2. 収穫祭の開催

■今年の豪華バイキング料理

体育館に行くと今年も柴北レディースによる豪華ランチバイキングと採りたて野菜や東北の酒などの即売準備が整っていました。豪華ランチバイキングは年々充実してくるようです。見た目も味もホテルのバイキングより立派です。これがワンコインで食べ放題ですからたまりません。（お酒が飲めたら最高ですが…）



並べられた豪華ランチバイキング



手作りパッケージとバイキング料理

■ランチタイム

ランチタイムではさながら大型レストランのような盛況ぶりでした。早めに食べ終えた矢ヶ部さんがギター演奏を開始。今年は残念なことにピアノが体育館からなくなっていたので矢ヶ部さんの独奏となりましたが、ギターの演奏を聴きながらの楽しいランチタイムを過ごしました。



盛況の大型レストラン



矢ヶ部さんのギター演奏

■竹とんぼ教室

収穫祭のイベントのひとつとして今年は竹とんぼ教室が開催されました。講師は三浦さんを中心とする愛する会のメンバーと共助研の濱田さんです。竹で作った羽根と軸は数日かけて三浦さんに準備していただきました。羽根の大きさや軸の丸さの正確さはプロの技です。子供たちに羽根と軸とナイフのセットを一人ずつに配り、濱田さんが削り方の説明を行ったあと三浦さんが指導していきました。羽根を片面の半分づつ削っていきませんが、日頃ナイフを使わない子供たちにとっては大変な作業です。集中し

ないとケガをするのでみんな真剣そのもので作製していきました。小さな子供は大人に手伝ってもらい30分くらいで完成。ステージの上からみんなで作った竹トンボの飛ばしっこ大会が始まりました。竹とんぼに満足した頃予定時間となり、参加された「おやじの会」会長、木寺リーダー、最後に穴見会長の挨拶があり今年の収穫祭は終了です。充実した1日を過ごしました。



竹とんぼ教室



竹とんぼ飛ばしっこ大会

3. 意見交換会の開催

収穫祭の片づけを終え愛する会と共助研の意見交換会を開催しました。

- ・竹活用の今後の進め方
- ・長谷の特産品を本格的に販売する検討を行う。
- ・忘年会の日程など

について話し合いました。午後2時過ぎに解散しました。



愛する会と共助研の意見交換会

4. 満開のさくらソバ観賞

共助研メンバーのみで帰る途中9月上旬に種まきした（柴北川P通信 25号参照）さくらソバを観賞しました。ピンクよりも赤に近い満開のさくらソバと青空のコントラストが見事でした。花びらが一つひとつが日の光に輝いていて思わず見とれました。種まきをしたメンバーはより一層感動したことでしょう。一部育っていないところもありましたが、だれが種を播いたかは伏せておきましょう。



満開のさくらソバの花

あまりの美しさに集合写真を撮りました。朝早かったことも忘れ充実感いっぱい帰路に着きました。



満開のさくらソバ畑での集合写真

(文責：森脇)